

経済学部経済学科 カリキュラムマップ

<p>養成人材</p>	<p>経済学部では、「経済学、経営学、法学をはじめとする社会科学の教育及び研究を通じて、自ら問題を発見し、分析し、解決することができる人材の育成」を基本目標とする。</p>
<p>学位授与の方針</p>	<p>埼玉大学経済学部規程に定める教養・スキル・リテラシー科目（基盤科目及び外国語科目）、初年次科目及び専門科目を所定の期間内に履修して以下に掲げる本学部教育研究上の目的に資する知識と能力を身に付け、かつ所定の単位以上を修得した者に対して卒業を認定し学士（経済学）の学位を授与する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経済分析メジャー：経済学の基礎理論を踏まえつつ、日本や世界が抱える様々な経済問題を歴史的・国際的な視野から考え、自ら解を模索する ・国際ビジネスと社会発展メジャー：経済・経営・社会の発展をグローバルな視点から理解し、国際的な経済及びビジネス活動が直面する諸問題を自ら考える ・経営イノベーションメジャー：管理・戦略的視点、財務的視点、倫理的視点を基礎に、企業や組織のイノベティブな活動にかかわる諸問題を創造的に考える ・法と公共政策メジャー：法に特徴的な思考力とリーガルマインドの育成を基礎とし、経済・ビジネスにかかわる法的諸問題や公共部門が担う政策問題について、自ら問題を立て、解決する
<p>教育目標</p>	<p>教育目標 1 社会科学系専門科目を学修するための基礎を修得する。</p> <p>教育目標 2 所属メジャー（経済分析、国際ビジネスと社会発展、経営イノベーション、法と公共政策）の中核的専門知識を修得する。</p> <p>教育目標 3 所属メジャー（経済分析、国際ビジネスと社会発展、経営イノベーション、法と公共政策）の主要な応用的分野の専門知識を修得する。</p> <p>教育目標 4 演習や卒業研究論文を通じて、所属メジャー（経済分析、国際ビジネスと社会発展、経営イノベーション、法と公共政策）分野に関し、自ら問題を設定し、自ら問題解決を行ないうる能力、及びその成果を理論的な文章にまとめ、発表する能力を育む。</p> <p>教育目標 5 日本の社会、経済、経営、法、公共政策など社会科学系の日本研究を英語で理解し、わが国社会について自ら国際的に発信しうる能力を涵養する。</p>

年次	科目	到達目標	教育目標	教育目標	教育目標	教育目標	教育目標
			1	2	3	4	5
第1年次	経済学入門	経済学部生全員にとって不可欠と思われる基礎的な経済学の概念に習熟する。	◎				
	経営学入門	経営学の基礎的な概念、考え方、問題を学び、専門教育科目履修のための基礎を養う。	◎				
	法学入門	法学の基本的な概念や思考について説明できるようにする。	◎				
	数理統計基礎	社会科学で求められる数理統計の基礎知識を修得する。	◎				
	経済情報リテラシー	社会科学に必要な文献探索方法、論文における資料提示の方法を習得する。また、社会科学の学修に必要な情報機器の利用方法を修得し、情報の入手・選別・加工・発信ができるようにする。	◎				
	データサイエンス入門	社会におけるデータサイエンス・AIの役割を理解する。データサイエンスを日常生活や仕事で活用する際の基礎的素養を身に着ける。	◎				
	プレゼミ	自分で文献を読み、理解した内容をレポートとするとともに、自らの意見を表明し、議論するための能力を身につける。	◎				
	GTB1	GTP所属学生用前期英語によるプレゼミ。社会科学と国際社会への問題意識を醸成する。	◎				
	GTB2	GTP所属学生用後期英語によるプレゼミ。GTP I に引き続き社会科学と国際社会への問題意識を醸成する。	◎				
	GTB3	G T P 学生の海外語学研修	◎				

第1・2 年次	メジャー「経済分析」						
	ミクロ経済学	ミクロ経済学の基礎的な諸概念を理解し、現象をミクロ経済学のロジックに沿って理解できるようにする。		◎			
	マクロ経済学	マクロ経済学の基礎を習得し、GDP、失業、インフレ/デフレ、金融財政政策等を理解できるようにする。		◎			
	日本経済論	日本経済の現状を理解し、日本経済が抱える問題点を考える。		◎			
	Introduction to Economics	英語により、ミクロ経済学、マクロ経済学の基礎を学ぶ。		◎			
	演習Ⅰ	経済分析についての専門知識の基礎を確実なものとする。				◎	
	演習Ⅱ	経済分析についての専門知識を深化させる。				◎	
	演習Ⅲ	経済分析についての専門知識を深化させる。				◎	
	SeminarⅠ	GTP所属学生用の英語による演習。英語により、経済分析の専門知識の基礎を確実なものとする。				◎	
	SeminarⅡ	GTP所属学生用の英語による演習。英語により、経済分析についての専門知識を深化させる。				◎	
SeminarⅢ	GTP所属学生用の英語による演習。英語により、経済分析についての専門知識を深化させる。				◎		

メジャー「国際ビジネスと社会発展」						
第1・2 年次	国際経営論	企業の国際活動の中核となっている経営戦略について、技術と市場の融合という観点から理解する。		◎		
	マーケティング論	マーケティング管理の基本的な考え方と理念、マーケティング・ミックス戦略を理解する。		◎		
	アジア経済論	アジア経済の実態とダイナミクス、アジア各国が直面する諸課題、日本とアジアの関係を理解する。		◎		
	Introduction to Global Business	グローバル・ビジネスの基礎知識を英語で理解する。		◎		
	演習Ⅰ	国際ビジネスと社会発展についての専門知識の基礎を確かなものとする。				◎
	演習Ⅱ	国際ビジネスと社会発展についての専門知識を深化させる。				◎
	演習Ⅲ	国際ビジネスと社会発展についての専門知識を深化させる。				◎
	SeminarⅠ	GTP所属学生用の英語による演習。英語により、国際ビジネスと社会発展の専門知識の基礎を確かなものとする。				◎
	SeminarⅡ	GTP所属学生用の英語による演習。英語により、国際ビジネスと社会発展についての専門知識を深化させる。				◎
	SeminarⅢ	GTP所属学生用の英語による演習。英語により、国際ビジネスと社会発展についての専門知識を深化させる。				◎

メジャー「経営イノベーション」						
第1・2 年次	経営管理総論	イノベーションとマネジメントの基本的内容、今日的課題を理解する。		◎		
	企業会計総論	簿記記録の対象となる企業活動を把握し、財務諸表（損益計算書と貸借対照表）を作成できるようにする。		◎		
	経営倫理	企業経営の倫理的側面、コンプライアンスなどについて理解する。		◎		
	Introduction to Business Studies	経営学の基礎知識を英語で理解する。		◎		
	演習Ⅰ	経営イノベーションについての専門的知識の基礎を確実なものとする。				◎
	演習Ⅱ	経営イノベーションについての専門知識を深化させる。				◎
	演習Ⅲ	経営イノベーションについての専門知識を深化させる。				◎
	SeminarⅠ	GTP所属学生用の英語による演習。英語により経営イノベーションの専門知識の基礎を確実なものとする。				◎
	SeminarⅡ	GTP所属学生用の英語による演習。英語により経営イノベーションについての専門知識を深化させる。				◎
	SeminarⅢ	GTP所属学生用の英語による演習。英語により経営イノベーションについての専門知識を深化させる。				◎

第1・2 年次	メジャー「法と公共政策」						
	憲法	憲法を理解し、具体的問題について自分なりの解決策を考えられる力を身につける。		◎			
	民法総則	民法の構造と、その中での総則の位置と役割を理解する。		◎			
	政治学	日本の政治制度について理解し、評価を行なえるようにする。		◎			
	Introduction to Public Policies	公共政策の構造と内容を英語で理解する		◎			
	演習Ⅰ	法と公共政策についての専門的知識の基礎を確実なものとする。				◎	
	演習Ⅱ	法と公共政策についての専門知識を深化させる。				◎	
	演習Ⅲ	法と公共政策についての専門知識を深化させる。				◎	
	SeminarⅠ	GTP所属学生用の英語による演習。英語により、法と公共政策の専門知識の基礎を確実なものとする。				◎	
	SeminarⅡ	GTP所属学生用の英語による演習。英語により、法と公共政策についての専門知識を深化させる。				◎	
SeminarⅢ	GTP所属学生用の英語による演習。英語により、法と公共政策についての専門知識を深化させる。				◎		

メジャー「経済分析」						
経済数学	1変数・多変数関数の微積分の基礎理論を学び、その計算に習熟する。			◎		
計量経済学	高校程度の数学を出発点として、線形回帰分析を理解する。			◎		
国民経済計算論	国民経済の全体に関する経済統計である「国民経済計算」を理解することによって、さまざまな経済統計、特にGDP統計に対する読み方が深まることになる。			◎		
労働経済論	雇用、人事管理の分野における最近の重要な諸問題について、理解を深めるようにする。			◎		
金融論	大学学部レベルで必要な金融の基本知識を習得し、現実の金融現象を理解・評価できる視座を身につける。			◎		
経済政策論	現代日本の経済政策に関する重要な制度を理解する。			◎		
財政学	財政学の基本的な理論と日本財政の現状、課題を理解する。			◎		
地方財政論	地方財政制度の基本的な仕組みと特徴、諸課題を検討し、地方財政制度の将来像について考える。			◎		
国際経済論	国際金融と国際貿易に関する基本的な理論を修得し、現実の国際経済の動きを理解できるようにする。			◎		
環境経済学	環境政策の基礎理論や基礎概念、環境問題の解決のために行われている政策について理解し、環境問題の解決のための政策を自分で考案できるようにする。			◎		
マルクス経済学	資本主義経済の仕組みを理解する。			◎		
西洋経済史	イギリス資本主義の段階的発展を把握できるようにする。			◎		

第2～4
年次

日本経済史	近代日本経済史における基本的な歴史事実および発展プロセスを理解し、説明できるようにする			◎		
経済学史	経済学の歴史性を理解し、経済学特有の社会の見方を身につける。			◎		
応用経済理論	経済学の応用的分野の専門知識を習得する。			◎		
International Economic Theory	国際的な経済の実態と理論を英語で理解できるようにする。			◎		
演習Ⅳ	経済分析に関する各種問題について検討し、卒業研究の準備を行う。				◎	
演習Ⅴ	経済分析に関する各種問題について深く考え、卒業研究の準備を行う。				◎	
演習Ⅵ	経済分析に関する各種問題について深く考え、卒業研究の準備を行う。				◎	
Seminar Ⅳ	GTP所属学生用の英語による演習。経済分析に関する各種問題を英語で理解・討議できるようにし、英語による卒業研究論文執筆の準備を行う。				◎	
Seminar Ⅴ	GTP所属学生用の英語による演習。経済分析に関する各種問題を英語で討議し、英語による卒業研究論文執筆の準備を行う。				◎	
Seminar Ⅵ	GTP所属学生用の英語による演習。経済分析に関する各種問題を英語で討議し、英語による卒業研究論文執筆の準備を行う。				◎	
卒業研究指導Ⅰ	各自が経済分析に関する卒業研究論文のテーマを選定し、卒業研究論文を執筆する。				◎	
卒業研究指導Ⅱ	選定した卒業研究論文のテーマにそって卒業研究論文を執筆する。				◎	
卒業研究指導Ⅲ	選定した卒業研究論文のテーマにそって卒業研究論文を完成させる。				◎	

卒業研究論文	経済分析に関する卒業研究論文を提出し、評価を受ける。				◎	
Thesis Writing Tutorial I	GTP所属学生用。各自が経済分析に関する卒業研究論文のテーマを選定し、英語による卒業研究論文を執筆する。				◎	◎
Thesis Writing Tutorial II	GTP所属学生用。選定した卒業研究論文のテーマにそって卒業研究論文を執筆する。				◎	◎
Thesis Writing Tutorial III	GTP所属学生用。選定した卒業研究論文のテーマにそって卒業研究論文を完成させる。				◎	◎
卒業研究論文 (英語(Graduation Research Project))	GTP所属学生用。経済分析に関する英語による卒業研究論文を提出し、評価を受ける。				◎	◎

メジャー「国際ビジネスと社会発展」						
経営管理総論	イノベーションとマネジメントの基本的内容、今日的課題を理解する。			◎		
経営倫理	企業経営の倫理的側面、コンプライアンスなどについて理解する。			◎		
雇用関係論	労使関係の諸側面と職業生活との関わりを具体的に探究し、充実した職業生活を送れるように準備する。			◎		
国際比較経営論	新興国市場論、日本企業のアジア新興国への進出の歴史と現状、アジアの企業家の特徴を理解する。			◎		
国際マーケティング論	グローバル・マーケティングを理解し、企業の国際活動をマーケティング論の視点から分析できるようにする。			◎		
サプライ・チェーン・マネジメント	サプライ・チェーン・マネジメントに関する基礎理論について理解する。			◎		
国際コミュニケーションマネジメント	コミュニケーションに関わる諸理論を理解するとともに、コミュニケーションが果たす役割について基本的な知識を修得する。			◎		
ミクロ経済学	ミクロ経済学の基礎的な諸概念を理解し、現象をミクロ経済学のロジックに沿って理解できるようにする。			◎		
マクロ経済学	マクロ経済学の基礎を習得し、GDP、失業、インフレ/デフレ、金融財政政策等を理解できるようにする。			◎		
国際経済論	国際金融と国際貿易に関する基本的な理論を修得し、現実の国際経済の動きを理解できるようにする。			◎		
経済政策論	現代日本の経済政策に関する重要な制度を理解する。			◎		
開発論	途上国開発に関する様々な取組みの成果を考え、その判断に用いる方法論を理解できるようにする。			◎		

第2～4
年次

都市論	都市及び都市政策の概況を理解し、将来のあり方を導く思想・論理を考え、地域での活動ができるようにする。			◎		
環境経済学	環境政策の基礎理論や基礎概念、環境問題の解決のために行われている政策について理解し、環境問題の解決のための政策を自分で考案できるようにする。			◎		
社会保障論	年金・医療・介護福祉の制度全体を見ながら、日本の社会保障の仕組みと問題点を理解する。			◎		
Comparative Studies of Management	英語により、各国のマネジメントの違いを理解できるようにする。			◎		
演習Ⅳ	国際ビジネスと社会発展に関する各種問題について検討し、卒業研究の準備を行う。				◎	
演習Ⅴ	国際ビジネスと社会発展に関する各種問題について深く考え、卒業研究の準備を行う。				◎	
演習Ⅵ	国際ビジネスと社会発展に関する各種問題について深く考え、卒業研究の準備を行う。				◎	
Seminar Ⅳ	GTP所属学生用の英語による演習。国際ビジネスと社会発展に関する各種問題を英語で理解・討議できるようにし、英語による卒業研究論文執筆の準備を行う。				◎	
Seminar Ⅴ	GTP所属学生用の英語による演習。国際ビジネスと社会発展に関する各種問題を英語で討議し、英語による卒業研究論文執筆の準備を行う。				◎	
Seminar Ⅵ	GTP所属学生用の英語による演習。国際ビジネスと社会発展に関する各種問題を英語で討議し、英語による卒業研究論文執筆の準備を行う。				◎	
卒業研究指導Ⅰ	各自が国際ビジネスと社会発展に関する卒業研究論文のテーマを選定し、卒業研究論文を執筆する。				◎	
卒業研究指導Ⅱ	選定した卒業研究論文のテーマにそって卒業研究論文を執筆する。				◎	
卒業研究指導Ⅲ	選定した卒業研究論文のテーマにそって卒業研究論文を完成させる。				◎	

卒業研究論文	国際ビジネスと社会発展に関する卒業研究論文を提出し、評価を受ける。				◎	
Thesis Writing Tutorial I	GTP所属学生用。各自が国際ビジネスと社会発展に関する卒業研究論文のテーマを選定し、英語による卒業研究論文を執筆する。				◎	◎
Thesis Writing Tutorial II	GTP所属学生用。選定した卒業研究論文のテーマにそって卒業研究論文を執筆する。				◎	◎
Thesis Writing Tutorial III	GTP所属学生用。選定した卒業研究論文のテーマにそって卒業研究論文を完成させる。				◎	◎
卒業研究論文 (英語(Graduation Research Project))	GTP所属学生用。国際ビジネスと社会発展に関する英語による卒業研究論文を提出し、評価を受ける。				◎	◎

メジャー「経営イノベーション」						
経営戦略論	経営戦略の基本概念を理解し、企業経営を戦略的視点から考えることができるようにする。			◎		
生産管理論	生産管理の基本的な概念を理解し、現代社会で起こる事象について歴史的な視点を持って考察できるようにする。			◎		
雇用関係論	労使関係の諸側面と職業生活との関わりを具体的に探究し、充実した職業生活を送れるように準備する。			◎		
日本経営史	日本の企業経営について、歴史的視点をふまえ、客観的な見方を養う。			◎		
マーケティング論	マーケティング管理の基本的な考え方と理念、マーケティング・ミックス戦略を理解する。			◎		
サプライ・チェーン・マネジメント	サプライ・チェーン・マネジメントに関する基礎理論について理解する。			◎		
計算システム論	生物は計算する存在であるという視点から、ニューラルネット、遺伝的アルゴリズムを理解できるようにする。			◎		
中小企業論	中小企業の実態と意義を学修し、このことを通じてわが国経済社会を見通す能力を培う。			◎		
国際経営論	企業の国際活動の中核となっている経営戦略について、技術と市場の融合という観点から理解する。			◎		
国際比較経営論	新興国市場論、日本企業のアジア新興国への進出の歴史と現状、アジアの企業家の特徴を理解する。			◎		
財務会計論	財務会計の応用論点について理解する			◎		
管理会計論	利益計画、原価管理など、管理会計の基礎的な知識を身につける。			◎		
経営財務論	株式会社の経済的機能、財務制度・政策にかかわる諸問題を総合的に分析する能力を身につける。			◎		

第2～4
年次

コーポレートガバナンスと会計	コーポレートガバナンスにかかる関連理論および個別論点を理解する。			◎		
経営組織論	経営学と経営組織論の基礎について理解する。			◎		
Human Resource Management in Japan and Asia	日本企業における人的資源管理の特徴とその問題点について英語で理解し、討議できるようにする。			◎		
演習Ⅳ	経営イノベーションに関する各種問題について検討し、卒業研究の準備を行う。				◎	
演習Ⅴ	経営イノベーションに関する各種問題について深く考え、卒業研究の準備を行う。				◎	
演習Ⅵ	経営イノベーションに関する各種問題について深く考え、卒業研究の準備を行う。				◎	
Seminar Ⅳ	GTP所属学生用の英語による演習。経営イノベーションに関する各種問題を英語で理解・討議できるようにし、英語による卒業研究論文執筆の準備を行う。				◎	
Seminar Ⅴ	GTP所属学生用の英語による演習。経営イノベーションに関する各種問題を英語で討議し、英語による卒業研究論文執筆の準備を行う。				◎	
Seminar Ⅵ	GTP所属学生用の英語による演習。経営イノベーションに関する各種問題を英語で討議し、英語による卒業研究論文執筆の準備を行う。				◎	
卒業研究指導Ⅰ	各自が経営イノベーションに関する卒業研究論文のテーマを選定し、卒業研究論文を執筆する。				◎	
卒業研究指導Ⅱ	選定した卒業研究論文のテーマにそって卒業研究論文を執筆する。				◎	
卒業研究指導Ⅲ	選定した卒業研究論文のテーマにそって卒業研究論文を完成させる。				◎	
卒業研究論文	経営イノベーションに関する卒業研究論文を提出し、評価を受ける。				◎	

Thesis Writing Tutorial I	GTP所属学生用。各自が経営イノベーションに関する卒業研究論文のテーマを選定し、英語による卒業研究論文を執筆する。				◎	◎
Thesis Writing Tutorial II	GTP所属学生用。選定した卒業研究論文のテーマにそって卒業研究論文を執筆する。				◎	◎
Thesis Writing Tutorial III	GTP所属学生用。選定した卒業研究論文のテーマにそって卒業研究論文を完成させる。				◎	◎
卒業研究論文 (英語(Graduation Research Project))	GTP所属学生用。経営イノベーションに関する英語による卒業研究論文を提出し、評価を受ける。				◎	◎

メジャー「法と公共政策」						
行政法	日常よく見かける行政の働きが、法的にみてどういう意味を持っているのかを理解できるようにする。			◎		
刑法	刑法総論を中心に、ある事実につき犯罪が成立するのかどうかを判断する際の基本的な思考方法を学ぶ。			◎		
物権法	物に対する権利である物権を総論的に理解し、担保物権の概要を把握する。			◎		
債権法	人がある特定の人に対して給付（行為）を請求する権利である債権の総論と各論を理解する。			◎		
商法総則・商行為	民法の構造を理解すると同時に、その特別法としての商法の位置づけを理解する。			◎		
会社法	会社法の総論・株式・機関・計算等に関する意義と内容を修得する。			◎		
民事訴訟法	民事訴訟の基本概念、手続の流れ、およびその意味を正確に理解できるようにする。			◎		
労働法	労働者の採用から退職までの労働契約上のルール、労働条件をめぐる諸問題についての法的判断を理解する。			◎		
経済法	独占禁止法の規律対象行為、手続きについて理解し、現実生じうる問題について分析できるようにする。			◎		
政治史	近代日本政治史の基本的な内容を学ぶことを通じて、政治や歴史について考える力を身につける。			◎		
行政学	行政法理論の基本的な思考と構造を理解できるようにする。			◎		
財政学	財政学の基本的な理論と日本財政の現状、課題を理解する。			◎		

第2～4
年次

地方自治論	地域の要素となる主体、環境、制度を維持させていくためのマネジメントの考え方と現実を学修する。			◎		
地方財政論	地方財政制度の基本的な仕組みと特徴、諸課題を検討し、地方財政制度の将来像について考える。			◎		
社会保障論	日本の社会保障の仕組みと問題点を理解する。			◎		
Advanced Theory of Public Policies	公共政策の基礎理論と諸問題を英語で学び、理解できるようにする。			◎		
演習Ⅳ	法と公共政策に関する各種問題について検討し、卒業研究の準備を行う。				◎	
演習Ⅴ	法と公共政策に関する各種問題について深く考え、卒業研究の準備を行う。				◎	
演習Ⅵ	法と公共政策に関する各種問題について深く考え、卒業研究の準備を行う。				◎	
Seminar Ⅳ	GTP所属学生用の英語による演習。法と公共政策に関する各種問題を英語で理解・討議できるようにし、英語による卒業研究論文執筆の準備を行う。				◎	
Seminar Ⅴ	GTP所属学生用の英語による演習。法と公共政策に関する各種問題を英語で討議し、英語による卒業研究論文執筆の準備を行う。				◎	
Seminar Ⅵ	GTP所属学生用の英語による演習。法と公共政策に関する各種問題を英語で討議し、英語による卒業研究論文執筆の準備を行う。				◎	
卒業研究指導Ⅰ	各自が法と公共政策に関する卒業研究論文のテーマを選定し、卒業研究論文を執筆する。				◎	
卒業研究指導Ⅱ	選定した卒業研究論文のテーマにそって卒業研究論文を執筆する。				◎	
卒業研究指導Ⅲ	選定した卒業研究論文のテーマにそって卒業研究論文を完成させる。				◎	

卒業研究論文	法と公共政策に関する卒業研究論文を提出し、評価を受ける。				◎	
Thesis Writing Tutorial I	GTP所属学生用。各自が法と公共政策に関する卒業研究論文のテーマを選定し、英語による卒業研究論文を執筆する。				◎	◎
Thesis Writing Tutorial II	GTP所属学生用。選定した卒業研究論文のテーマにそって卒業研究論文を執筆する。				◎	◎
Thesis Writing Tutorial III	GTP所属学生用。選定した卒業研究論文のテーマにそって卒業研究論文を完成させる。				◎	◎
卒業研究論文 (英語(Graduation Research Project))	GTP所属学生用。法と公共政策に関する英語による卒業研究論文を提出し、評価を受ける。				◎	◎

第3・4 年次	共通選択科目「社会科学系日本研究」						
	Japanese Economy	日本経済の現状、日本経済が抱える問題点を英語で理解し、討議できるようにする。					◎
	Marketing in Japan and Asia	日本とアジアのマーケティングについて、英語で理解し、討議できるようにする。					◎
	Japanese Society	日本社会の実態と問題点、将来展望について、英語で理解し、討議できるようにする。					◎
	Urban Planning in Japan and Asia	日本における都市計画を、アジア各国のそれと比較しながら英語で理解し、討議できるようにする。					◎
	International Trade in Japan and Asia	日本とアジアにおける貿易のあり方、国際取引のあり方について英語で理解し、討議できるようにする。					◎
	Global Business in Japan and Asia	日本とアジアにおける企業のグローバルビジネスの実態を英語で理解し、討議できるようにする。					◎
	Public Policies in Japan and Asia	日本とアジアにおける公共政策の実態とその特徴について、英語で理解し、討議できるようにする。					◎
	Economic Policies in Japan and Asia	日本とアジアの経済発展、政策、課題の実践的側面と理論的背景について英語で理解し、討議できるようにする。					◎
	Diffusion Studies	社会の変化に対する普及（メカニズム、技術、社会的影響を含む）について英語で理解し、討議できるようにする。					◎
Public Finance and Socioeconomic Development in Japan	日本における社会政策の発展に関する理論及び事実について英語で理解し、討議できるようにする。					◎	